

田子山富士保存会

会報 第1号
平成24年4月発行

お富士さん

埼玉県指定有形民俗文化財・明治5年(1872)6月築造

事務局所在
志木市商工会事務局内
志木市本町1-6-30
048-471-0049

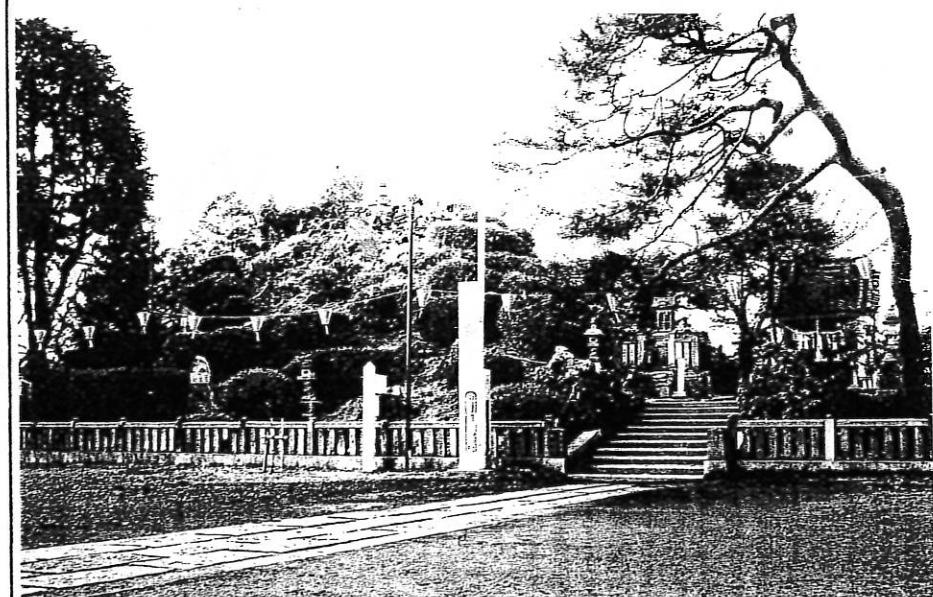
志木の自慢「お富士さん」をみんなの手で

会長 清水良介

「田子山富士」は皆様ご承知の通り、志木市にある唯一の埼玉県指定文化財です。私が子どもの頃は「お富士さん」と呼んでいました。敷島神社の境内は腕白坊主たちの遊び場で、お富士さんの頂上まで駆けずり回っていました。夏の夜に行われる「お焚き上げ」では、燃え残りの薪を自宅に持ち帰り、厄除けとして戸口にぶら下げるなりました。この様に思い出深いお富士さんですが、最近は石像物が倒れたり崩れ落ちたりして危険な状態なので、残念ながら立ち入り禁止になっています。

この度「田子山富士保存会」の再出発にあたり、総務・環境整備・行事・事業・研修・修復の6部会を設置しました。お富士さんの草刈り・清掃、山開き、研修会などの通常活動を進めると共に、お富士さん修復事業を推進し、郷土の貴重な文化財を次の世代に引き渡すことが出来たらと念願しています。

ちょうど5月には、昨年から撮影してきました映画「武蔵野S町物語」が封切られるそうです。先日試写会があり、観させていただきました。女優の宮崎美子さんなどが出演し、昭和30年代のほのぼのとした雰囲気があふれる映画で、お富士さんも出てき

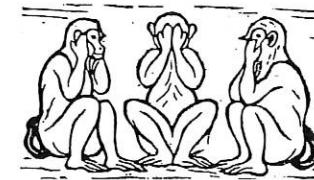


「総会」が開かれました

今後の日程	
5月16日(水)	見学会(吉田胎内、他)
6月17日(日)	草刈り・清掃
7月 1日(日)	山開き
8月21日(火)	山仕舞い
12月9日(日)	草刈り・清掃

草刈り・清掃に ご参加下さい

6月17日(日)9時より、田子山富士の草刈り・清掃を行いますので、是非ご参加下さい。軍手・カマなどは用意しておりますので、作業しやすい服装でお集まり下さい。ご協力をお願いします。



富士山は申年に出現したと伝えられていることから、「猿は富士山のお使い」とされている。

築造140周年の「山開き」

田子山富士は明治2年10月に着工し、明治5年(1872)6月に竣工しました。今年は明治5年から数えてちょうど140年目に当たります。ですから、今年の「山開き」(7月1日)は築造140周年記念になります。皆さまお誘い合わせの上ご参加ください。にぎやかな「山開き」にしましょう。

「吉田胎内」見学会へのご案内

井上國夫様のご案内により、志木市宗岡出身の先達・日行星山が発見した「吉田胎内」を見学します。洞内には入れませんが、周辺だけでも見ることが出来る数少ないチャンスです。ご興味のある方は、是非ご参加下さい。

日 時：5月16日(水) 8時

志木市民会館前出発

行き先：吉田胎内⇒北口本宮富士

浅間神社⇒富士吉田歴史

民俗博物館⇒忍野八海

参加費：5,000円(バス代・昼食費・入館料含む)

参加人数：50名(満杯になり次第、締め切ります)

申込み先：一ノ倉達也様
(473-3728)

●「吉田胎内」について

宗岡の富士信仰の先達・日行星山(にちぎょうせいざん)が明治25年6月に洞窟を発見(開建)し、ここを行場とした。先達として富士山へ何度も

登山したので、多くの登山者が訪れるようになり、茶屋なども建てられ、大正から昭和初期には繁盛した。その後国指定の天然記念物となり、富士吉田市で管理しており、入口は鍵が掛けられ中へは入れない。茶屋は朽ちて廃屋になっているが、国指定の経過や「吉田胎内」の説明版が建ててある。周囲には富士信仰の人たちが建てた石碑が数多く建立されている。

●「富士吉田歴史民俗博物館」

富士登山や富士信仰の歴史が分りやすく展示されている。この館の入口に、志木宿の富士信仰の先達・高須



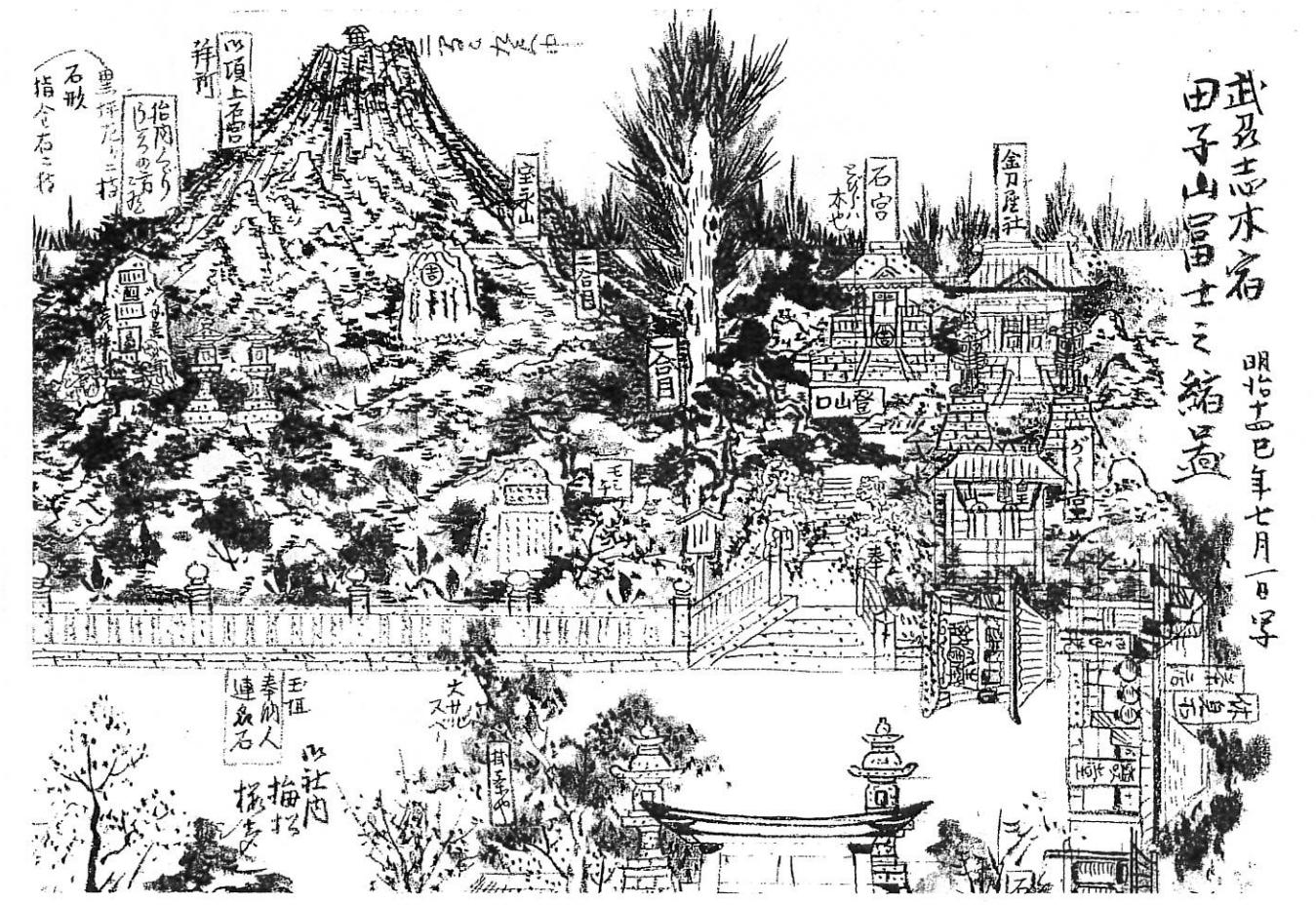
上宗岡4丁目にある日行星山の碑
「大教正日行星山彦命」

庄吉の歌碑がある。建立は明治16年7月で、解説の表示板も付されている。(井上國夫様の資料から抜粋)

明治14年の「お富士さん」、発見！

昨年末、お富士さん築造の発起人である高須庄吉さんの曾孫(ひまご)に当たる高須峰男様が神棚の掃除をした際、今まで開けたことがなかった箱を開けたところ、明治14年に描かれた「武州志木宿田子山富士之縮

図」(下の絵図)が出てきたそうです。まだ敷島神社が出来る前で、周辺の様子も良くわかり、着色もされて綺麗な絵です。敷島神社社務所の中に、コピーを額に入れて掛けてありますので、ご覧下さい。



田子山富士之縮図

明治廿二年七月一日